

日本活断層学会公開オンラインワークショップ

「活断層調査における詳細地形データの有効性と展望」

開催要旨

近年、航空レーザ計測等による詳細な地形データ（DEM；以下「詳細 DEM」という。）が活構造分布の認定や推定に活用されるようになってきています。その一方で、詳細 DEM の整備状況は十分ではなく、適用できる領域は限られています。また、地震前後の詳細 DEM があれば、地震に伴う地表変動現象の把握が可能となり、その後の災害復旧や地震防災に貢献できますが、地震発生直後に航空レーザ計測を実施したりデータを解析したりする包括的な仕組みは整っておらず、その適用は限定的であるのが現状です。

そこで、活構造解明や地震時の詳細地表変動解析における詳細 DEM の有用性を、学術的観点及び地震防災政策的観点から検討するとともに、活断層周辺の現在の詳細 DEM 整備状況や整備計画を踏まえて、今後の詳細 DEM の整備の望ましいあり方について、多様な視点から広く意見交換をするため、主に日本活断層学会会員を対象とし、4回構成で公開オンラインワークショップを開催します。

プログラム

第1回 「詳細 DEM による活構造解明のブレークスルー」

日時：2023年12月10日（日） 13時～15時

時間	講演	講演者
13:00-13:05	趣旨説明	
13:05-13:30	講演①「DEM（数値標高モデル）の概要とその表現」	岩橋 純子（国土地理院）
13:30-13:55	講演②「活断層の地形判読－詳細 DEM の導入と発展－」	後藤 秀昭（広島大学）
13:55-14:20	講演③「後期高齢者 DEM を使う」	中田 高（広島大学・名誉）
14:20-15:00	意見交換・ディスカッション	

第2回 「詳細 DEM による地震時の詳細変位解析」

日時：2023年12月20日（水） 13時～15時

時間	講演	講演者
13:00-13:05	趣旨説明	
13:05-13:30	講演①「詳細 DEM を用いた数値地形画像解析による地震時地表変位計測手法」	向山 栄（国際航業(株)）
13:30-13:55	講演②「DEM 差分解析による断層変位量評価 ～legacy データの活用例～」	青柳 恭平（電力中央研究所）
13:55-14:20	講演③「高精度 DEM の差分解析による地表地震断層の位置とその変位量の推定：2016年熊本地震を例に」	石村 大輔（東京都立大学）
14:20-15:00	意見交換・ディスカッション	

第3回 「詳細 DEM の整備状況と展望」

日時：2024年1月19日（金） 13時～15時

時間	講演	講演者
13:00-13:05	趣旨説明	
13:05-13:30	講演①「航空レーザの概要及びその進展と近年の技術動向（仮）」	今野 洋幸（(株)パスコ）
13:30-13:55	講演②「国土地理院における航空レーザ測量データの整備について」	大塚 力（国土地理院）
13:55-14:20	講演③「測技協「航空レーザ測量データポータルサイト」と高精度航空レーザ測量の進展（仮）」	高本 光太郎 （日本測量調査技術協会）
14:20-14:45	講演④「森林地域における航空レーザ測量の実施と解析データのオープン化」	室木 直樹（林野庁）
14:45-15:00	意見交換・ディスカッション	

第4回 「詳細 DEM 整備への提言に向けて」

日時：2024年1月下旬～2月上旬（調整中）

時間	講演	講演者
調整中	調整中	調整中

参加費 無料

定員 各回300名（先着順）

オンラインミーティング情報URL: <https://us06web.zoom.us/j/85332553655?pwd=KQPpiOPw9SzMTJbLlbsG3IM974GCGm.1>

ID: 853 3255 3655

パス: 513995

問合せ先 E-mail kikaku_ows@jsaf.info